

# 一 般 質 問 通 告 表

	ページ	
① 宮 島 宏	..... 1	( 9月3日予定 )
② 加藤康太郎	..... 4	( 〃 )
③ 伊 藤 麗	..... 6	( 〃 )
④ 保 坂 悟	..... 7	( 〃 )
⑤ 和 泉 克 彦	..... 11	( 〃 )
⑥ 近 藤 新 二	..... 11	( 9月6日予定 )
⑦ 利根川 正	..... 13	( 〃 )
⑧ 田 原 実	..... 15	( 〃 )
⑨ 新 保 峰 孝	..... 17	( 〃 )
⑩ 渡 辺 栄 一	..... 18	( 〃 )
⑪ 田 原 洋 子	..... 20	( 9月7日予定 )
⑫ 阿 部 裕 和	..... 21	( 〃 )
⑬ 中 村 実	..... 22	( 〃 )
⑭ 横 山 人 美	..... 23	( 〃 )
⑮ 東 野 恭 行	..... 24	( 9月8日予定 )
⑯ 古 畑 浩 一	..... 25	( 〃 )

令和3年第4回市議会定例会（9月）



## 質 問 事 項

### ① 宮 島 宏

#### 1 クラシックカーイベントへの支援と地域振興について

【答弁者：市長、教育長】

米田市長は、2011年発行のクラシックカーレビュー20周年記念誌の巻頭言において「企画から運営まで、市民の力で作り上げてこられたイベントとして、全国に誇れるもの」とし、「地域に根付いたこのビッグイベントが、今後ますます発展されることを願ってやみません」と述べています。

さらに、この9月5日に行われるはずだったクラシックカーレビューのパンフレットにおいても、市長は「市民の交通安全意識の高揚や地域の活性化に多大な貢献をしている当市を代表する一大イベント」と評価されています。

糸魚川市は、イベントへの職員の派遣や助成金支給、場所の提供、展示場所の改良などで多大な支援をしてきました。私は市民の努力に加えて、市の支援がクラシックカーレビューを全国有数の質にしたと考えています。そのことに感謝しつつ、更に充実したイベントにするために、以下質問いたします。

- (1) 市長は、前述のような多大な貢献をしているイベントに対して、必要と認められれば、更なる支援をするお考えをお持ちでしょうか。
- (2) 市長は、クラシックカーレビューによる経済効果に満足されていますか。より高い経済効果をもたらすようなものにするための具体的なアイデアをお持ちでしょうか。
- (3) 展示会場となっているエリアの道標は、1996年に設置されたものであり、退色、さびなどが見られるほか、現在はなくなった施設の表示が黒く消されていてあまり美しくありません。開館して四半世紀を経ていますので、老朽化した道標を更新する考えはありませんか。
- (4) 展示場となっている駐車場の区画線が一部消えかかっています。早急に区画線を引き直すことはできませんか。
- (5) クラシックカーの展示の際、フォッサマグナミュージアムの前のインターロッキング舗装路に、区画線をチョークなどで印をつける作業を1995年から続けています。インターロッキングを一定間隔で異なる色のブロックに差し替えれば、この作業はしなくて済みます。市民緑日のブースの区画にも応用できますので、インターロッキングの改良をすることはできませんか。
- (6) 1994年のフォッサマグナミュージアム開館当初、噴水広場は透水性舗装がなされ、緑色の帯が格子状に塗装されていました。しかし、経年劣化により緑色バンドは完全に消失し、透水性舗装は碎石を敷き詰めたような外観を呈しており、広場の美観を大きく損なっています。車の配置がしやすいデザインを持つ広場に改修することはできませんか。

## 質 問 事 項

- (7) フォッサマグナミュージアムでは、クラシックカーレビューに合わせてオリジナルピンズを独自に製作してきました。中には人気があって既に完売して入手困難なものもあると聞いています。完売したものの復刻版を作成して再販売すれば収益につながることは間違いありません。完売したピンズを再販売することはできませんか。
- (8) 糸魚川で本格的なクラシックカーのイベントが行われていることをご存じない方もまだいらっしゃいます。イベントの直前だけでなく、それ以外の時期にもPRすることが大事だと思います。具体的には駅のデジタルサイネージ、フォッサマグナミュージアム、その他の市内観光地、ジオパル、観光案内所のポスターやパネル、市や観光協会のホームページなどでクラシックカーイベントのことを通年で紹介することはできませんか。同様に市の他の主要イベントや特徴についても通年でPRする考えはありませんか。

### 2 公用車の交通事故の防止対策としての昼間点灯の導入について

【答弁者：市長】

広大かつ標高差のある本市での公務遂行において、自動車の使用は避けられません。公務で交通事故の加害者や被害者にならないために、交通法規の遵守や細心の注意を払って安全運転をする必要があることは言うまでもありません。

私は法律に定められていなくても、事故の抑止低減につながることは、市は率先して導入すべきだと考えています。本市の全ての公用車に装備されたドライブレコーダーは、交通事故の際の事実関係を明らかにするだけでなく、市職員の交通違反や交通事故の抑止につながるものと思います。

1989年より二輪車の昼間点灯が奨励され始めました。この昼間点灯の目的は被視認性の向上、すなわち、対向車や歩行者から二輪車がより認識されやすくするためのものです。1998年には道路運送車両法が改正され、二輪車は構造的に常時点灯がされるようになっています。最近の四輪車においては、前照灯とは別にLEDデイライトを装備して日中に点灯しているものが増えているのは周知のとおりです。LEDデイライトが装備されていない自動車でも、前照灯の昼間点灯を行う事業者も見られます。四輪車が昼間点灯をするのは、二輪車同様に被視認性を向上することで、事故の発生を抑止する効果があるからです。被視認性は、晴天時よりも雨天、降雪時、朝夕、つまり、より事故が起きやすい環境下で向上します。

昼間点灯に伴うデメリットとしては、ハロゲンランプなどの常時点灯によりバルブの交換の寿命が短くなること、内照式メーターが見づらくなることなど、そして、わずかの燃費の悪化などが挙げられます。本市のように歩道が少なく、高齢の歩行者や運転者が多い地域では、被視認性の向上による交通事故抑止の効果がデメリットを

## 質 問 事 項

はるかに上回るものと考えます。公用車の昼間点灯について、以下質問いたします。

- (1) 新潟県や県内の自治体では実施していない公用車の昼間点灯ですが、高緯度の先進国を中心に海外では実施している国も多くなり、いずれは日本でも昼間点灯やデイライトが義務化されるものと思われます。ジオパークへの参加を即断された先見の明のある市長として、公用車の昼間点灯を他の自治体に先んじて導入をする考えはありませんか。公用車が昼間点灯すれば、一般の市民や他の事業所も追随することが考えられ、市内での交通事故抑止につながると考えられますがいかがですか。
- (2) 当市の公用車でLEDデイライトを装備した車両は何台ですか。装備された車両では日常的にデイライトを使用していますか。していない場合、その理由は何ですか。
- (3) 当市では安全で安心な社会の構築のために、昨年度末に第11次交通安全計画が策定されています。この計画書には昼間点灯推進やLEDデイライトについての記述はありますか。

### 3 地域の自然を活かした人材育成と地域振興 特に山について

【答弁者：市長、教育長】

本年は<sup>つがみ</sup>梅海新道が開通して50年の節目の年です。フォッサマグナミュージアムで行われている梅海新道に関する特別展を拝見して、改めて当市には素晴らしい山が多く存在していることを実感したところです。糸魚川の山々は地域の大切な資源と捉え、私はフォッサマグナミュージアムやジオパークに関わる中で、それぞれの山の成り立ちなどについて、展示や出前講座などで普及してきました。地域の山を活かした人材育成と地域振興に関して、以下質問いたします。

- (1) 市長は糸魚川の山々を地域資源として、どのように評価されていますか。
- (2) 子どもたちが地元の山に登ることについての意義や教育的効果は、多岐にわたると思います。教育長は具体的にどのようなものがあると認識されていますか。
- (3) 教育長は糸魚川の学校教育において、今まで以上に山を活用する考えはありますか。
- (4) 梅海新道の特別展は、とても素晴らしい内容だと思います。展示会終了後も梅海新道や糸魚川の山の魅力を伝えることは、人材育成と地域振興に有効だと考えます。是非、その内容を冊子にまとめていただきたいと思いますが、いかがですか。
- (5) 私は目黒区生まれの世田谷区育ちですが、小学校から高校までの間に学校行事として丹沢、奥多摩などの山々に登り、沢登りなども体験しました。現在、糸魚川の児童生徒が学校行事として地元の山に登る機会はあるのでしょうか。学校

## 質 問 事 項

名、学年、対象となる山について教えてください。

- (6) 地域の行事や公民館の行事として、児童生徒が登山する機会はあるのでしょうか。地域と対象となる山について教えてください。また、私は出前講座として市内の公民館や学校などで山や石のことを説明してきましたが、最近でも地元の山について学習する機会がありますか。
- (7) ジオパークによる人材育成の一環として、糸魚川の子どもたちが今以上に地元の山に登り、親しみ、学ぶ機会を増やす必要があると考えますが、いかがですか。
- (8) ジオパークでは多くの道標や解説板が整備されてきました。ジオパークの事業として山頂に設置された解説板は何基ありますか。設置された山はどこですか。山頂への大型の看板設置が諸事情によって難しい場合、携帯電話の電波の圏内であれば山頂に設置した二次元バーコードからインターネット上の解説ページにアクセスすることや、圏外であっても二次元バーコードから文字情報を提供することが可能ですが、いかがですか。
- (9) 登山には危険も伴います。特に道に迷って自分の居場所が分からなくなってしまうことが原因の遭難事故も発生しています。携帯電話の電波の圏外の場所であってもGPS機能を使って現在の位置を把握できるSkyWalkingという無料アプリもあります。登山だけでなく防災アプリとしても高い評価を受けています。当市の山を紹介する際には、そのような便利なアプリがあることを合わせて紹介されたいかがでしょうか。

### ② 加藤康太郎

#### 1 新型コロナウイルス感染症に関する糸魚川市対処方針について

【答弁者：市長】

新型コロナウイルス感染症に関する糸魚川市対処方針は、令和2年3月28日に国が作成した「基本的対処方針（令和2年4月16日変更）」及び4月1日に県が作成した「新型コロナウイルス感染症に関する新潟県対処方針（令和2年4月17日改正）」に基づき、市として、この度の新型コロナウイルス感染症対策に総力を挙げて取り組むこととし、令和2年4月15日（令和2年4月20日改正）に定めたものです。

この方針には、「本市における新型コロナウイルス感染症の発生、まん延の推移をはじめ、今後の国や県の対処方針や経済対策等の動向を踏まえ、適宜、見直しを行っていく。」とあります。糸魚川市対処方針を定めた際の国の「基本的対処方針」は、令和2年4月16日の変更から、直近の令和3年8月25日まで、26回変更されています。

新型コロナウイルス感染症に関する糸魚川市対処方針についても、策定から1年

## 質 問 事 項

以上が経過し、国の「基本的対処方針」の変更や新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく協力要請、経済対策等の動向、並びに、本市における新型コロナウイルス感染症の発生、まん延状況等を踏まえ、適宜、見直していくことが必要と考えますが、糸魚川市新型コロナウイルス感染症対策本部での見直し、検討状況を伺います。

### 2 糸魚川市新型インフルエンザ業務継続計画について

【答弁者：市長】

新型コロナウイルス感染症に関する糸魚川市対処方針(5)その他②において、「職員における感染を防ぐよう万全を尽くすとともに、万が一、職員に感染者又は濃厚接触者が確認された場合も、職務が遅滞なく行えるよう『糸魚川市新型インフルエンザ業務継続計画(平成27年8月改訂)』に基づき対策を講じる。」とあります。

この業務継続計画策定に当たっての前提条件は、市内で新型インフルエンザが発生し、市職員のおおむね40%の職員が登庁不可として、市内発生時における各課の対応を、「従来どおり、継続しなければならない事務事業」、「取り扱いの方法を変更し、対応できる事務事業」、「中断及び中止する事務事業」及び「使用中止施設」の4つに分類し、業務の継続方針をあらかじめ定めたものです。

インフルエンザとは異なる対応が求められる新型コロナウイルス感染症における最新の知見や対策に基づく、「業務継続計画」における各課の対応、業務の継続方針、並びに、「中断及び中止する事務事業」及び「使用中止施設」の再開基準等の検討が必須と考えます。

変異種のデルタ株への置き換わりが進み、急速に感染が拡大している中、既存の計画で、迅速、的確な対応が可能かどうか、見解を伺います。

### 3 第3次行政改革大綱の取組状況と第4次行政改革大綱の策定について

【答弁者：市長】

本市の行政改革は、平成18年3月に「糸魚川市行政改革大綱」の策定から、市町合併の効果を発揮しながら始まり、平成23年3月に「第2次糸魚川市行政改革大綱」を策定、その後、長期財政見通しの反映などから、平成26年3月の改定を経て、現状と課題の把握に努めながら、平成29年3月には、「第3次糸魚川市行政改革大綱」を策定し、継続的に取り組んできました。

(1) 第3次行政改革大綱の基本方針として、「コスト・スピード・成果を重視した行政経営」を掲げ、3つの視点(行政サービスの向上、健全な財政運営、職員の意識改革と効率的で質の高い組織運営)に基づき、進めてきた6つの推進項目(実施計画)の取組状況、並びに、これらの成果と課題を伺います。

(2) 令和3年度は、第3次行政改革大綱の最終年度であり、令和4年度から5年間

## 質 問 事 項

の第4次行政改革大綱の策定に向けて、市長は糸魚川市行政改革推進本部長として、厳しい財政状況や変化の激しい社会経済環境に対応しながら、今後、どのように衆知を集め、行政改革を進めていくのか伺います。

### ③ 伊 藤 麗

#### 1 空き家の活用について

【答弁者：市長】

全国的に社会問題となっている空き家の問題ですが、当市においても7月31日に市内で初となる行政代執行による空き家の除去が実施されました。今後、こうした対応が増えることが予想されることから、以下について伺います。

- (1) 市内で増え続ける空き家の問題を市民に対し、どのような働きかけ、対策の周知などを行っていますか。
- (2) 所有する空き家を住居や民泊、賃貸などとして活用しようとしたときに、UIターンの方向けの施策以外で市民が活用できる支援策はありますか。
- (3) 空き家所有者にとって活用するだけではなく、解体し、更地にするという選択肢も当然あると思います。危険空き家除却支援補助金の申請・利用件数は、どの程度ありますか。

#### 2 廃校の活用について

【答弁者：市長、教育長】

少子化により、市内の小学校の統廃合への動きが進んでいます。その中で廃校のその後、民間や地域などが活用しようとした場合の協働のプロセスなど、以下について伺います。

- (1) 廃校の利活用として、市としての方針やお考えはありますか。
- (2) 廃校になった校舎を、単発のイベント、常設の事務所などとして使いたいという場合の相談先はどこでしょうか。
- (3) 常設での利用となった場合、利用目的などにもよるかもしれませんが、利用料など明確な取決めはされていますか。
- (4) 市内の障害者福祉に取り組もうとする団体・事業者が、放課後デイサービスなどを運営する際に利用できるようにしては、いかがでしょうか。



## 質 問 事 項

### 3 子育て支援について

【答弁者：市長、教育長】

不妊治療、妊娠、出産、子育てまで安心して過ごすことのできる糸魚川であるために、以下について伺います。

- (1) 妊産婦医療費助成について、出産日の翌月末までの医療費が対象となっていますが、月初で出産された方と月末の方で不公平感があると言えます。出産日から2か月間などと平等に取り決める方針にしては、いかがでしょうか。
- (2) 市内産婦人科確保対策によって、糸魚川総合病院産婦人科の利用率に変化はあったのでしょうか。
- (3) 糸魚川市の子育て支援が手厚いかどうか、他市と比較などして初めて知ることができるものだと考えます。糸魚川市の子育て支援施策が子育て世代に喜ばれているのかどうか。全国の実例も示しつつ、アンケートなどを実施しては、いかがでしょうか。
- (4) 妊活中の方、妊婦さん、障害を持つお子さんのご両親などいかなる立場の方でも子育てに関わることに必要な情報を手に入れることのできるプラットフォームのような場所作りが必要だと考えますが、いかがでしょうか。

### ④ 保 坂 悟

#### 1 糸魚川市の課題解決について

【答弁者：市長】

- (1) 官製談合について
  - ① 犯行動機が新駅開業日に間に合わせるため、入札の不調を避けるためとあるが、工期の設定（スケジュール）に何か問題があったのか。
  - ② 新駅トイレ工事以外の余罪について、市はどのように扱うのか。
- (2) 歴代副市長の任期途中の辞任について  
藤田副市長の「頼むね」発言の根本原因は米田市長へのそんたくと思うが、歴代副市長が任期途中で辞めていること自体を、市長はどのように受け止めているのか。また、理事者の働き方改革を行う考えはあるか。
- (3) 市内の企業間談合について  
元営業部長の供述によると、15年ほど前の前任者からの引継ぎ時から談合があり、逮捕されるまで継続されていたとのことである。この期間の不正入札により、市民の税金が予定価格に近い高止まりした金額で落札されたと考えた場合、市は警察に被害届を出すことになるのか。

## 質 問 事 項

### (4) 旧姫川病院の廃虚について

- ① 6月1日の火災発生の原因は分かったか。今後の対策はどうするのか。
- ② 廃虚の解決方法について、懸賞金を出して全国からアイデアを募集する大会を開催する考えはあるか。
- ③ 廃虚マニアツアー等で、廃虚を生かす研究を行う考えはあるか。

## 2 子育て支援について

【答弁者：市長、教育長】

### (1) 新生児の聴覚検査費用の助成について

県では検査の推奨のみで自己負担となっている。兵庫県加古川市のように検査の種類別に助成を行う考えはあるか。

### (2) 子どもの弱視予防について

厚生労働省は8月13日に「屈折検査」を3歳児健診に導入を促す方針を固めた。当市の弱視予防の現状と専用の機器等を拡充する考えはあるか。

### (3) 出産一時金の拡充について

厚生労働省によると、2019年度では現行の42万円で賄いきれないことが判明している。市として増額に向けた取組を行う考えはあるか。

### (4) 保育園の入園基準の緩和について

時代とともに多様化した生活様式や新たな価値観がある。若い祖父母との同居について、条件付きで緩和をする考えはあるか。

### (5) 奨学金の企業肩代わり制度（代理返還制度）の周知について

今年4月からの代理返還制度は社員等にとってメリットがある。人材や定住人口の確保の観点から積極的に周知する考えはあるか。また、今年度4月から市内での導入件数はいくつか。

## 3 新型コロナウイルス（デルタ株）感染症対策について

【答弁者：市長、教育長】

### (1) 予防接種対象外である12歳以下の対策について

県内では10歳代や10歳未満の感染が報告されている。予防接種対象外者の感染拡大防止についての取組はあるか。

### (2) 予防接種キャンセル分の扱いについて

東京都港区で集団接種会場の看護師3人が、無断で3回目のワクチン接種をした報道があった。その後、国や県からのキャンセル分の扱いについて、新たな見解や指示はあるか。

### (3) パルスオキシメーターの配備と貸与制度について

## 質 問 事 項

① 病床確保の問題がある中、市と県の保有数はどれくらいあるか。

② 自宅療養の家族に1台を貸与する制度は考えているか。

### (4) 経済対策について

① 元気応援券の利用は9月30日までであるが、利用率の低い場合の対策は考えているか。また、年末年始の手立ては考えているか。

② ワクチンパスポートの電子化と市内の商業施設等での活用は考えているか。

③ コロナ禍のサテライトオフィスについて、特色のある取組を考えているか。

## 4 気になる子どもたちへの支援について

【答弁者：市長、教育長】

### (1) 市内小中学校の現状について

① 気になる子どもの人数の割合について、調査や研究を行っているか。

② 教職員の配置や加配について、過不足の実態調査を行っているか。

③ 教職員の毎年行う研修内容は、現場で生かされているか。

### (2) 家庭と学校との連携について

① 家庭が求める教育と学校が提供できる教育についての調整は、どのように行うのか。

② 二次障害の防止について、理解を深める取組はあるか。

### (3) 教職員の現場に合ったサポート体制について

① 学級崩壊の状態が起きた場合の支援策はあるか。

② 発達障害等は症状が様々なため、教職員が対応できない場合や対応が分からないときに、どのような支援が行われるのか。

### (4) 市民全体で考える取組について

① 様々な症状に合わせ取組を行っていることを周知しているか。

② 気になる子どもについて、理解を広げる取組を考えているか。

③ 市内の年代別割合の把握と中長期的な生活支援の計画はあるか。

## 5 高校の魅力づくりについて

【答弁者：市長、教育長】

### (1) 市内スポーツ施設の高校生使用料の軽減について

特に野球場使用料の軽減を求める声がある。SDGsやジオパークの宣伝活動を行うことで使用料を免除する考えはあるか。

### (2) 県立高校のいじめ問題について

今年6月議会一般質問の通告書公開後、糸魚川高校の元教頭である齋京県議より連絡があり、2回目の質問は控えた。定例会後、齋京県議と被害者の保護者か

## 質 問 事 項

ら別々に話を伺い、整理することができた。

- ① 高校が設置した第三者委員会の報告書に、守秘義務のある内容が保護者の同意を得ないまま書かれていること。
- ② いじめの有無について保護者と教職員の見解に相違があり、平行線から対立関係に発展したこと。
- ③ 高校側では「いじめがない」ことを前提として報告書を作成したこと、スポーツ保険等の事務手続きを行わなかったこと。
- ④ 過去のいじめ事案とその解決方法の先入観が強く、高校で起きたいじめからの飛躍があったこと。一方、いじめ担当教員の負担が非常に大きく健全とは言えないこと。

結論として、これらの問題を踏まえ「いじめ解決の専門職員の派遣制度」を市として県に強く求める考えはあるか。

### 6 気になる事業の取組について

【答弁者：市長】

#### (1) 選挙の対応について

- ① 視覚障がい者用選挙公報の改善はできているか。
- ② 選挙ポスター掲示板で危険個所の改善はできているか。
- ③ 選挙ポスターのデジタル化の推進は行うか。

#### (2) 観光のアフターコロナ戦略について

- ① 権現荘とマリンドリーム能生の経営で考えていることはあるか。
- ② 2つのスキー場の経営で考えていることはあるか。
- ③ 観光協会、鉄道会社、バス会社の3者連携による子どもが集まる仕組みや仕掛けについての取組やビジョンはあるか。

#### (3) 糸魚川市と動物愛護活動団体との連携について

- ① 今年度、団体による保護活動で去勢・避妊手術の件数が多くある。その背景と問題点を分析しているか。
- ② 猫のふん尿被害が多いと伺っているが、現状を把握しているか。
- ③ 動物愛護活動の周知は、定期的に行っているか。
- ④ 空き家や空き地におけるハクビシンやイノシシ等の動物被害対策が必要と考えるが、何か取り組む予定はあるか。

## 質 問 事 項

### ⑤ 和 泉 克 彦

#### 1 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

【答弁者：市長、教育長】

(1) ワクチン接種会場への臨時バスの運行について伺います。

- ① 能生地域と青海地域への臨時バスの利用状況（結果）について
- ② 今後、3回目の接種を行うことになった場合の、高齢者の方へのバスの運行計画について

(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について伺います。

- ① 当市の新型コロナウイルス変異株の感染状況について
- ② 接種による副反応等について
- ③ 政府は、感染拡大防止対策として、ワクチン接種を主として進めているが、様々な事情で、接種ができない方々への配慮について
- ④ 教育現場における、感染症対応とワクチン接種の有無などによるいじめに係る諸問題について

#### 2 運転免許証の自主返納と高齢者の交通機関（手段）について

【答弁者：市長】

(1) 運転免許証の自主返納の支援事業の内容とその利用状況について伺います。

(2) 高齢者の交通手段としての路線バス、コミュニティバスの在り方について伺います。

### ⑥ 近 藤 新 二

#### 1 人口減少対策について

【答弁者：市長】

当市の人口は、1市2町が合併した平成17年3月には49,844人となっていて、令和3年8月1日現在では、40,822人と16年間で約9,000人減少となり、人口減に歯止めがかからない状況です。

第2次糸魚川市総合計画の人口及び世帯数の推移と将来推計では、平成35年（令和5年）の目標人口が40,900人と設定されています。毎年、人口減少対策に対応した事業を推進していても、人口増になっていないのが実態です。

人口減少が及ぼす市の財政問題や地域経済は、市民にとって近い将来に大きな問題

## 質 問 事 項

となってきます。昨年と今年はコロナ禍の中で事業もままならない状況ですが、減退することなくスピード感を持って確実に進めるために、今までの事業の課題解決や見直しが必要と考えますが、以下の項目について伺います。

- (1) 移住定住の促進に関する主要事業別の推移について伺います。
- (2) 結婚を希望する男女への婚活支援について伺います。

### 2 防犯・交通安全対策の充実について

【答弁者：市長、教育長】

今年の6月28日に千葉県八街市の市道で、歩いて下校途中の市立朝陽小学校の児童の列にトラックが突っ込み、男女5人が死傷する悲しく痛ましい事故が発生しました。

当市の各地域においては、防犯活動や登下校時の見守り等の活動を実施していますが、子供たちを守るための防犯・交通安全対策は十分と言えるか、以下の項目について伺います。

- (1) 児童が安全に登下校する通学路の安全施設等の点検状況について伺います。
- (2) 市内幼稚園・保育園や小中学校の防犯カメラの設置状況について伺います。
- (3) 市所有車へのドライブレコーダー設置状況について伺います。

### 3 糸魚川産木材について

【答弁者：市長】

7月20日に建設産業常任委員会の委員会協議会において、「林業振興について」の意見交換を行いました。

ウッドショックによる現在の状況では、地元製材業者は値段が高くても地元の木材を購入しており、ぬながわ森林組合は、地元製材業者に、ほかより値段を下げて販売しているという、地元業者間の努力が伺えました。

地元製材業者は外来材や県外の材料と値段が折り合うよう、糸魚川産木材の値段を下げて営業することにより、収益が見込めないため、地元製材業者の廃業が続いている現状をどのように考えるか伺います。

## 質 問 事 項

### ⑦ 利 根 川 正

#### 1 地域農業のみらいについて

【答弁者：市長】

糸魚川市の農業は、経営規模が小さく稲作を中心とした兼業農家が多く、機械の導入、水田維持にコストが掛かり、農業従事者の減少や高齢化が進んでおり、農業所得の向上、担い手の確保と育成を地域全体で支える農業の構築が課題となっています。

今回、8月に開催された、地域農業みらい会議において、糸魚川の6地区に参加させていただきました。

地域農業を将来にわたって維持するための話合いで、いろいろな意見を聴くことができましたが、会議で若い方の参加が少なかったことが残念でした。

- (1) 就農希望者が必ず就農を実現できるよう、研修から就農自立までの一貫した支援体制の構築が必要と思いますが、市の考えを伺います。
- (2) 稼げる農業の仕組みづくりで、休耕田を利用して園芸、花の活用、農業機械の共同化など地域全体で稼ぐ仕組みをプロジェクトとして進めてはどうかと思いますが、市の考えを伺います。
- (3) 集落営農組織、大規模農家の法人化を進めてもらい、同時に地域の農地を中間管理機構でまとめてもらい、それを活用して、法人に貸し出すことを進められないか伺います。
- (4) 企業の農業促進ということで、地元建設会社の参入がありますが、多様な業種にリース方式で耕作放棄地を貸し出すことができないか伺います。
- (5) 一般コシヒカリのJA仮渡金が、20年度産比較で1,800円減少したことについて、予想を超える減額幅をどう受け止めたか伺います。

#### 2 森林管理と木材加工の現状について

【答弁者：市長】

糸魚川市は、市域の87%が森林資源となる山林で構成され、県内でも有数の森林保有自治体ですが、間伐も進んでおらず森林の高齢化が進んでいる状態です。また、小規模製材工場も厳しい態勢で弱体化しています。

しかし、昨年度からのウッドショックを好機と捉え、ウッドチャンスに変えていく具体的な事業展開が求められています。

- (1) 地元材を優先利用していく方策等があれば伺います。
- (2) 小規模製材工場5社は、近年まで地元木材価格の下落により厳しい現状で、生産、売上アップを前提とした補助制度の活用は難しい状況ではありますが、これら製材工場に対しての支援等の考えがあるか伺います。

## 質 問 事 項

- (3) 山林所有者の申出により、森林環境譲与税を活用した伐採が進められないか伺います。
- (4) 原木般出に大型トラックでの木材運搬をしていますが、林道等には傷みがひどい箇所があります。林道整備事業で、定期的に整備、改修をしているか伺います。

### 3 GIGAスクールいといがわについて

【答弁者：市長、教育長】

小学校、中学校は、生涯学び続けるための基礎スキルを身に付け、聞く、読む、書くことと、計画を立て準備をし、協力、集中、実行して学ぶところであります。

多岐にわたって発達段階に応じて学力を伸ばしていき、卒業時には生涯学び続ける力が備わると考えます。

今回、ICT（情報通信技術）を活用した学校教育で、紙の教科書の内容をタブレット端末などに取り込んだ、デジタル教科書がスタートする予定であります。ICTの活用により、多様化、複雑化する社会のニーズに対応する力を育成する取組だと理解していますが、導入によるメリットと課題について、以下の項目を伺います。

- (1) タブレットのメリットは、どのようなものがあるか伺います。
- (2) タブレットの利用で学習効果は上がっているか伺います。
- (3) 視力の悪化など検証をしているか伺います。
- (4) 低学年で想定外の事態が起きていないか伺います。
- (5) 通信環境のない家庭もあり、この対応はできているか伺います。
- (6) デジタル教科書が来年度スタートですが、文字や図の拡大ができ、障害がある児童生徒の学習に効果があると聞いています。そこで特別支援学校、学級での利用を考えているか伺います。
- (7) 令和2年7月の学校職員業務見直しの改善状況について伺います。
- (8) 小中学校夏休み後の新型コロナウイルス感染症対策の実施状況について伺います。



## 質 問 事 項

### ⑧ 田 原 実

- 1 スムーズで安心・安全な新型コロナウイルスワクチン接種、ウィズコロナ時代の地域医療体制確保について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 糸魚川市の新型コロナウイルス感染の現状について、特に市内感染者と感染経路の調査結果の公表、感染者の治療、入院、回復の状況報告及びテレビ等で報道されている感染拡大した場合の保健所対応や、自宅療養中の重症化など、市民の不安解消への市の取組について伺います。
- (2) 糸魚川市の新型コロナウイルスワクチン接種の状況について、8月までの接種率及び今後のワクチン接種の見込み、ワクチン供給量とスケジュール等について伺います。
- (3) デルタ株への変異と更なる変異による感染拡大への対応について、子どもたちへの感染拡大への対応について、妊婦及び家族へのワクチン接種対応について伺います。
- (4) ウィズコロナ時代の地域医療体制確保について、市内基幹病院である糸魚川総合病院と市外、県外の病院、富山大学との連携について、ウィズコロナ市民医療フォーラムの開催等について伺います。
- (5) ウィズコロナ時代の地元での医療人材確保策について、医師・看護師育成につながる医療教育の推進について、市長が進める看護師養成学校等の設立等について伺います。

- 2 被災者住民、地区の要望が反映され、地域住民が主体的に活動し元気に生活できる、住んでいる人が主人公となる復興計画の推進について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 市が進める駅北大火からの復興まちづくりは、被災者や地域住民に寄り添うものとなっていますか。例として買物をするところがないという住民の声は今も大きく、市長は市内全体の課題、民間業者がやるべきこととしていますが、いつまでそのままにしておくのか伺います。
- (2) 3月定例会の私の一般質問において米田市長は、「にぎわいづくりが今若い人たちも取り組んでおられます。そういったところを、また住民の皆様方にどのような形で進めていかれるかという課題も、その中で取り組んでいただければありがたいなと思いますし、行政もそういったところの中において、加わりながら対応していきたいと思っております。今の復興計画のみならず、そういった課題というものはあるわけですので、しっかりとその辺も考えながらいきたいと思っております。」と答弁していました。

## 質 問 事 項

行政もにぎわいづくりの役割を担うということは何となく分かるのですが、にぎわいが生まれるには、誰が、何をどのように、いつまでに進めるのか、改めて具体案、具体策を伺います。

- (3) 市が取得した旧東北電力株式会社糸魚川営業所と宮田ビルの敷地は、周辺の土地・建物と連携させて、地域住民が望む公民連携の空間として活かすと同時に、新幹線糸魚川駅から歩いて5分の目の前は日本海という好立地を活かした空間として、活用することは誰しもが考えることだと思います。市の考える具体案を伺います。
- (4) にぎわいの拠点としてつくったキターレの現状と課題について伺います。
- (5) 糸魚川本町通り（旧加賀街道）のイメージ形成、雁木の街並みや優良な住環境の形成で、住んでみたい街、訪れたい街を実現する取組について伺います。

### 3 人口減少問題への対策、糸魚川市の戦略と成果について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 平成 27 年策定、平成 30 年改訂、糸魚川市総務部企画定住課編集発行「糸魚川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」によれば、人口減少対策の方向性として、当市の魅力発信による定住人口の拡大、魅力発信の方法が記載されています。ここで示されているところの、市民やU I ターンを希望する方が幸福感を得られる取組は実行され、成果を上げていますか、伺います。
- (2) 人口減少対策の5つの戦略とはどのようなものですか。具体的に説明願います。また、ここで示されているところの、「ライフステージの見える化と5つの戦略について、市民、企業、行政などが話し合い、それぞれの役割に応じた取組を展開することで、人口減少の克服を目指します。」とする取組は実行され、成果を上げていますか、伺います。
- (3) 人口維持なしには自治体の存続はあり得ません。人口減少を市長以下、副市長、市職員の皆さんはどのように捉えておられますか、伺います。
- (4) 北海道夕張市の財政破綻を見れば、著しい人口流出と過大となったインフラを持ち切れずに、焼石に水という状態の中で破綻してしまったと捉えています。そのまま糸魚川市に当てはまるものではありませんが、じわじわと状況が悪くなっているのではないかと危惧します。その対策としてファシリティマネジメントの推進が必要と考えますがいかがですか、伺います。
- (5) 人口減少問題への対策、戦略を上越市、妙高市と比較したことはありますか。また、糸魚川市の戦略で秀でたものは何だとお考えですか、伺います。

## 質 問 事 項

### ⑨ 新 保 峰 孝

#### 1 談合問題と入札制度の改善について

【答弁者：市長】

(1) 糸魚川市の入札に対するこれまでの考え方や制度によって、平均落札率 97.3%という高い落札率が続いてきた。このことをどのように受け止めているか。明らかとなった官製談合の土台に業者間談合がなければ、このような高い落札率が続くことはないと考える。

官製談合に対する有罪判決が下されたが、官製談合や業者間談合に対する市長の基本的考え方、認識を伺う。

(2) 産業の振興という角度から談合問題を捉えると、安易な談合を繰り返していると競争力も技術力もない会社ばかりになってしまうのではないかと危惧する。談合が建設業に与える影響をどのように考えているか。

(3) 現行の入札制度のもとで、工事箇所・地域と落札業者の関係はどのような傾向があるか把握しているか。不正があった場合の処分の期間と考え方はどうか。新潟県に準拠して変更したという最低制限価格 91%を 75～92%にした考え方はどのようなものか。今回の官製談合を教訓に入札制度をどう改善したいと考えているか。

(4) 8月27日に今回の官製談合事件の判決が出され有罪判決となったが、今回の事件から教訓としてどのようなことを学んだか。入札制度をどう改善したいと考えているか。

#### 2 新型コロナウイルス感染症対策について

【答弁者：市長、教育長】

(1) 新型コロナウイルス感染拡大が全国的な広がりをみせており、都市部では入院できない在宅療養者が急激に増えているとのことである。糸魚川市においても感染が続いているが、現状をどのように捉えているか。

(2) 新型コロナウイルスが感染力の強いデルタ株に置き換わったことにより、これまでの対策では対応できない状況も報道されている。

今後のワクチン供給計画、接種計画はどのようになっているか。低年齢児やワクチンの2回接種を終えた方たちも含め、今後の感染対策をどのように考えているか。

(3) 新型コロナウイルスの感染が地方にも急拡大している中で、国・県に対し医療・経済対策等、対応に力を入れて取り組むよう求め続ける必要があると思うがどうか。また、市としての取組については、どのようなことを考えているか。

## 質 問 事 項

### 3 産業振興について

【答弁者：市長】

- (1) 中山間地域の水田、畑、山林等の維持管理は、災害防止の面からも大きな役割を果たしている。中山間地の資源を生かした仕事づくりの取組が求められているのではないか。
- (2) 山林や耕作放棄地を活用した1次産業に対する幅広い起業支援を推進するための組織をつくったらどうか。
- (3) 海洋資源を生かした仕事づくりの取組は、どのように行っているか。

### ⑩ 渡 辺 栄 一

- 1 当市職員における官製談合事件での判決、副市長辞任に至る責任及び職員全体に及ぼす職務のモラル意識の低下について

【答弁者：市長】

8月18日に新潟地方裁判所で開かれた初公判では、当該職員が2018年以降、駅北大火復興事業をきっかけに価格漏えいを繰り返していたことを明らかにし、企業との間で癒着があり、「常習的な犯行」であると非難され、他にも漏えいがあることを非常に危惧しております。そして、8月27日に執行猶予付きの有罪判決が言い渡されました。

- (1) 市長が庁内におけるコンプライアンスの責任者であることについて、改めてどのようにお考えになっていますか。
- (2) 現状況下において、市長として庁内に求心力はあると思いますか、思いませんか。
- (3) 副市長辞任に至ったご自身の責任はあると思いますか、思いませんか。そもそも客観的に見て、適任者だったのでしょうか。
- (4) 失態続きで、市職員の業務に対するモラル低下につながるおそれはありますか、ありませんか。
- (5) 入札問題や副市長の発言などで市政を心配する市民の声があります。市政に対する信頼回復にどう取り組まれますか。
- (6) 27日の判決をどのように受け止めていますか。

## 質 問 事 項

### 2 当市における観光エリアの設備・環境・保全状況について

【答弁者：市長】

糸魚川市のホームページの「教育・文化」に、「高校を核とした地域人材育成事業」の項目があり、その中に「糸魚川高校2学年生徒が糸魚川市への提案を発表しました」が掲載されています。プレゼンテーションを行ったある1つのグループから、観光地が整備されていない旨の指摘があり、その指摘が当市の観光スポットで活かされているのか伺います。

- (1) 現在の「月不見の池エリア」をどのように評価されていますか。また、池の水位が下がってきていることや水質について、継続して調査するお考えはありますか。
- (2) 月不見の池には大立岩と小立岩があり、現在、木が生い茂り、岩肌が見えない状態となっています。巨大な岩そのものが存在する、本来の迫力ある景観が損なわれていることから、伐採等の必要があると思われませんが、市長のお考えはいかがですか。
- (3) 親不知エリアは、<sup>つがみ</sup>梅海新道の起点と接する人気スポットと思われませんが、どのように評価されていますか。コミュニティロードの岸壁には「矢如砥如」の文字が刻まれています。草などが垂れ下がり見えにくく、道路も草刈り等が必要と思いますが、いかがお考えですか。

### 3 大糸線等の利用促進状況について

【答弁者：市長】

糸魚川市において、北陸新幹線の開業で利便性が格段に上がりましたが、ローカル的存在の大糸線の利活用の状況について伺います。

- (1) 糸魚川駅での大糸線利用客数を把握していますか。今後の推移状況に希望が持てますか。
- (2) JR西日本・東日本の各社、えちごトキめき鉄道との連携は取れていますか。
- (3) 松本市からの大糸線の利用状況を調査し、海のある当市に来てもらう仕組みづくりや姉妹都市の塩尻市とも互いに協力することで、利用客の掘り起こしが図られるのではないかと思います。いかがですか。
- (4) 現在、北陸新幹線糸魚川駅の利用者は駐車料金が4日間無料ですが、大糸線やえちごトキめき鉄道の利用者にも1日だけでも無料にできませんか。
- (5) 新駅「えちご押上ひすい海岸駅」の利用客数調査を6月以降行いましたか。結果はどうでしたか。

## 質 問 事 項

### ⑪ 田 原 洋 子

#### 1 文化財・記念物の保護と活用について

【答弁者：市長、教育長】

糸魚川市内には国指定文化財・記念物として青海の竹のからかい、長者ヶ原遺跡、小滝川硬玉産地、白馬連山高山植物帯など 26 件、県指定文化財・記念物として木造奴奈川姫神像、真光寺の大イチョウ、根知城跡など 18 件、市指定文化財・記念物として能生白山神社の宝刀、朱印状三代将軍徳川家光、山口関所跡など 106 件、国登録有形文化財は木地屋民俗資料館、旧高野寫眞館（高野家住宅主屋）など 8 件あります。

大切に受け継がれてきた風習と豊かな自然が育んだ文化財・記念物の保護と活用について伺います。

- (1) 文化財の保護・活用・研究のための学芸員は、何人いますか。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響で行事が中止となっている期間、伝統芸能の伝承は、どのようにされていますか。
- (3) 新型コロナウイルス感染症で観光客が減少している中、長者ヶ原考古館、糸魚川歴史民俗資料館、能生歴史民俗資料館、木地屋民俗資料館及び塩の道資料館の入館者数は、どのくらい影響を受けていますか。
- (4) 動植物の環境保全は、どのようにされていますか。
- (5) 財団法人が行っている助成事業があることを、継承活動をしている団体などに、どのように周知していますか。

#### 2 有害鳥獣捕獲とジビエの流通について

【答弁者：市長】

糸魚川市ではイノシシ、クマ、ニホンジカなど有害鳥獣による人身被害や農作物の被害が増加しています。

電気柵の設置が広がっていますが、電気柵では生息数の削減にはつながらず、大型獣の生息地を山間部から徐々に平地へ移動させているのではないかと、という意見もあります。

また狩猟免許があっても、クマやイノシシを捕獲した後の解体、処理が大変で、保管する冷凍庫にも限度がある、とお聞きしています。

そこで有害鳥獣の捕獲と捕獲後の処理、ジビエの流通について伺います。

- (1) 新潟県猟友会糸魚川支部と西頸城支部の会員は、何人ですか。
- (2) 狩猟免許取得補助金、有害鳥獣捕獲の担い手緊急確保補助金、はこなわの申請数は、どのくらいありますか。

## 質 問 事 項

- (3) 捕獲数の推移は、どうですか。
- (4) 捕獲後の処理は、どのように行われていますか。
- (5) 捕獲後の食肉を処理する施設は、糸魚川市内に何か所ありますか。
- (6) ジビエの流通を増やす計画は、ありますか。

### 3 糸魚川市役所の職場環境改善について

【答弁者：市長】

糸魚川市の職員数は平成 17 年 4 月 1 日では 662 人でしたが、令和 2 年 4 月 1 日では 508 人と 154 人（23.3%）の削減となっています。

職員数の削減に加え、地方分権の推進、社会情勢の変化、多様化する市民ニーズへの対応など職員一人ひとりの負担が増えている中で、官製談合事件、副市長の辞任と庁舎内の雰囲気は決して明るいとは言えません。

それを踏まえ、糸魚川市職員の職場環境について伺います。

- (1) 職員の休憩室は、十分なスペースが確保されていますか。
- (2) 職員が昼食をとる場所は、自席以外に自由に使える場所はありますか。
- (3) 職員が担当部署以外の職員と相談する環境は、整っていますか。
- (4) 作業着は、男女共通ですか。

## ⑫ 阿 部 裕 和

### 1 通学路の安全確保について

【答弁者：市長、教育長】

6 月 28 日に千葉県八街市で小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、児童 5 人が死傷する痛ましい事故がありました。飲酒運転は言語道断ではありますが、改めて通学路の安全確保の重要性を認識した次第であります。

この事故を受けて政府は 9 月末までをめどに通学路の総点検を実施し、既に都道府県の道路管理者や教育委員会に対して、対策が必要な箇所を抽出するよう要請しています。

以下伺います。

- (1) 交通量が多い箇所や、速度の上がりやすい箇所、大型車の侵入が多い箇所など、通学路の危険箇所の把握ができていますか伺います。
- (2) 児童及び市民の安全を守るため、今までにどのような対策を講じてきたか伺います。

## 質 問 事 項

### 2 保健センターの利活用について

【答弁者：市長】

地域保健法第18条の2で「保健センターは、住民に対し、健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関し必要な事業を行うことを目的とする施設」と定義されています。

地域住民の健康維持・増進に向けた、きめ細やかなサービスの提供に期待をしています。

糸魚川保健センター、青海保健センター及び能生保健センターの3施設がありますが、それぞれの施設の現在の利活用状況と、今後の展望を伺います。

## ⑬ 中 村 実

### 1 記録的な豪雨災害について

【答弁者：市長】

お盆の8月11日から記録的な大雨により広島県内や九州などで土砂崩れや河川の氾濫により、多くの方々がお亡くなりになられたり、家屋の倒壊などが毎日のようにテレビで報道されていました。

今回の大雨は、3年前の西日本豪雨をはるかに超える雨量を記録し、激甚災害にも指定されるということで、早期復興が進むのではないかと期待をしているところでもあります。

また、糸魚川市においてもお盆のさなか何日も大雨が続き、8月13日から19日まで大雨警戒本部の設置や自主避難所の開設もありましたが、何事もなく安心をしたところではありますが、来海沢地区の皆様にとっては眠れない日々が続いたことと思っています。

今回の大雨警報の中、何人の方々が避難所に避難したのか。また、大雨警戒本部解散後に何か反省点はなかったのか伺います。

### 2 上越地域シートゥーサミット実証実験について

【答弁者：市長】

8月21日早朝に糸魚川市から上越市、そしてゴールの妙高市まで、シートゥーサミット2022に向け、糸魚川市ではマリンドリーム能生から筒石港南公園までの間、約4.4キロメートルをシーカヤックを使い、試走するという実証実験が行われました。



## 質 問 事 項

糸魚川市ではカヤックで海の魅力を満喫し、上越市では自転車、妙高市では登山を行い、自然について考えようという素晴らしいスポーツイベントだと思いますが、今回の試走を振り返り、今後の取組について、どのように考えているのか伺います。

### 3 糸魚川市役所・能生・青海事務所の執務環境の見直しについて

【答弁者：市長】

職員の執務環境については、先日、阿部議員と話をする中で、昼食時に職務室が暗すぎる、洋式トイレが少なすぎる、トイレの洗面台の蛇口の自動水栓化が一部でしかなされていないとの話になり、その解消についてお願いしたところであります。

職員が昼食をとるときに、窓口以外の電気を消していることについては、節電の効果もあり、取組自体を否定するものではありませんが、庁舎のLED化も進んだことから、節電を一部緩和し、せめて昼食をとる時間くらいは少し明るいところで食べてもいいのではないのでしょうか。

また、新型コロナウイルス感染症が収束したときには、仲間と一緒に会話を楽しみながら食事ができるスペースがあれば、職場の雰囲気は更に良くなるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。

また、庁舎の洋式トイレについては、現在、非常に少ない状況ですが、各階に男女最低1つは設置したほうが良いのではないかと思います。いかがでしょうか。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、トイレの洗面台の蛇口の自動水栓化や照明の人感センサー化も必要と思いますが、いかがでしょうか。

## ⑭ 横 山 人 美

### 1 糸魚川市ささえあいプランにおける医療的ケア児を含めた重症心身障害児の支援の課題と明るい未来について

【答弁者：市長】

現在、糸魚川市には、医療的ケアが必要なお子さんを含めて、18歳未満の重度、中軽度の心身に障害をお持ちのお子さんがいらっしゃいます。

そして、そのお子さんの多くが在宅でご家族と共に暮らしておられます。

成長を見守るご家族は、お子さんの成長を喜ぶと同時に、日常生活において、行政や民間事業所における支援があってもなお、身体的にも精神的にも大きな負担があり、将来に不安を抱いていらっしゃる現状がございます。障害を持ったお子さんとそのご家族が、住み慣れた糸魚川で安心して暮らし続けることができるために、以下のことについてお伺いいたします。

## 質 問 事 項

- (1) 昨年度までの第5期計画から挙げられる、在宅で暮らす重症心身障害児とご家族への支援の課題について、どのようにお考えでしょうか。
- (2) 今年度から始まった第6期計画において、(1)で挙げた課題の解消につなげるための具体的な施策があれば、お聞かせください。
- (3) 重度の障害を持つお子さんが、0歳から18歳までの子ども一貫教育を終えた後の居場所や社会参加について、具体的にどのようにお考えでしょうか。
- (4) 障害を持つお子さん、そして、障害を持つ18歳以上の若い人たちが、糸魚川市民として安心して過ごすために、地域資源の利活用を含めた施設の拡充と、異業種参入も視野に入れた地域資源やマンパワーの組合せ等、柔軟性に富む糸魚川市独自の福祉計画が展開されることを願いますが、将来に向けての展望は、いかがでしょうか。

### ⑮ 東 野 恭 行

#### 1 駅北復興まちづくりと立地適正化計画について

【答弁者：市長】

平成28年12月22日に発生した糸魚川市駅北大火から5年が経過しようとしています。糸魚川市駅北復興まちづくり計画も「復興展開期」を迎え、これからも計画を基に、市民、事業者、関係団体の活躍が期待される所であり、糸魚川市駅北復興まちづくり計画や立地適正化計画が、地域住民の皆様の要望や希望とかみ合っているのかどうか。時にかみ合わない状況が見られても、誰かの責任にするのではなく、それぞれが活動の主体となり、それぞれの責任を果たしていく。10年後、20年後の糸魚川の社会をふかんに見ながら、市民の皆様と共に計画が進むことを切望します。

- (1) キターレにおける駅北復興まちづくりの行政視察の受入体制と、今後の予定について伺います。
- (2) 駅北においても、地域の団体が主体となり、日々活躍されているが、今後の行政の支援策について伺います。
- (3) 「駅北まちづくり活動動画」の作成による効果と今後の活用について伺います。
- (4) 駅周辺のスーパーマーケットが撤退後、周辺の地域より行政に対し、スーパーマーケットの設置について要望があったが、その後の対応について伺います。
- (5) 駅周辺に、サテライトオフィスの設置がもたらす効果の予測と、今後の予定について伺います。
- (6) 糸魚川創成塾2021基礎講座が無事終了しましたが、塾生による現在までの駅

## 質 問 事 項

周辺での創業の実績について伺います。

- (7) 若者の居住誘導について、現段階の具体的な施策について伺います。
- (8) 子育てに関する施設、保健センターなど、都市機能の駅北周辺への誘導は、計画として進んでいるのか伺います。
- (9) 本町通りの雁木整備については、再建の補助制度が本年度をもって一旦締め切られる予定ですが、現在の進捗状況と今後の展望について伺います。
- (10) 駅北地区に限らず「空き家・空き店舗」の活用について、継続して取り組んでいただいておりますが、取組の内容について伺います。
- (11) 駅北地区「駅前海望公園」の利活用について、今後の展望を伺います。
- (12) 今後4年間で、糸魚川市駅北復興まちづくり計画と立地適正化計画は、どの程度の進捗を目安としているのか伺います。

### ⑩ 古 畑 浩 一

#### 1 度重なる不祥事と行政責任、再発防止への取組について

【答弁者：市長】

官製談合事件による担当職員が逮捕起訴され、藤田前副市長の公職選挙法違反による告発・引責辞任など、市民に対して信頼を著しく失墜させ、行政業務及び経済活動を停滞させる事態となりました。

繰り返される不祥事の数々、取りも直さず米田市長の行政手腕と責任を問われるもので、該当職員等の免職・辞任で済まされる問題ではありません。

それぞれ事件の全容を明らかにするとともに、コンプライアンスの徹底・再発防止に努めることはもちろん、官製談合や業者談合を容認してきたと思われる体質そのものを改革することが急務であるという観点から、以下の質問にお答えください。

- (1) 官製談合防止法違反等事件の発生から裁判・判決までの経過と処分について
- (2) 総務課の裁判の傍聴記録によると、ほかにも官製談合・業者談合の可能性があるとありますが、どのように対処しますか。
- (3) 再発防止策と入札に対しては、どのように対処しますか。
- (4) 平均的に高いとされる糸魚川市の落札率。新潟県及び上越市・妙高市など近隣自治体の平均落札率はどのくらいですか。100%や99%などの落札率は他市でもありますか。
- (5) 藤田前副市長の公職選挙法違反による告発・引責辞任についての経過と責任・処分について
- (6) コンプライアンスの徹底は、市職員はもちろん、第三セクターや指定管理者にも徹底すべきであります。「火打山麓振興株式会社社長」織田元副市長のシャル

## 質 問 事 項

マン火打スキー場でのセクハラ・パワハラについては、どのように対処されましたか。

(7) ガバナンスの観点から、市長の長期入院に伴う職務代理を置かなかったことは、業務に支障がなかったのですか。

(8) 行政トップの市長の責任について

### 2 新型コロナウイルス感染症への対応と経済対策について

【答弁者：市長】

依然とどまることを知らず、猛威を振るう新型コロナウイルスは、更に感染力の強いデルタ株へと変異し、全国的に爆発的感染・パンデミックを引き起こしております。

8月27日現在で、緊急事態宣言の実施区域は、21都道府県、まん延防止等重点措置の実施区域は計12県となり、全都道府県の7割に広がり、新潟県においても日々過去最多の感染者数を更新する異常事態が続いております。

ワクチン接種がいちるの望みであったものの、依然、外出自粛が求められ、市民生活・経済活動に多大な悪影響を与え、飲食業、サービス業及び小売業を中心とした経済活動に与える影響は、ますます深刻さを増し、営業の存続から命の存続まで脅かす、緊急事態となっています。

以下、6月議会でも取り上げておりますが、行政のお考えをお聞きします。

(1) コロナ禍における深刻な状況となっている職種や経営状況、生活困窮者などをどのように把握していますか。

(2) 県や国の警報継続と市や企業の自粛呼び掛けなど、営業の自由を侵害しています。持続化給付金など、継続して行うべきであると考えますがいかがですか。

(3) ワクチン接種計画と状況。高齢者の方々と同時に、人と接する機会の多い飲食店、宿泊業を始め、サービス業、小売業や窓口業務に関わる方々に対し、優先的にワクチン接種を行うことにより、経済活動を安全に行うことができると考えますがいかがですか。

(4) 私営・公営にかかわらず新型コロナウイルス感染症関連の各種補助金等は、公平に行うべきと考えますがいかがですか。また、指定管理者・第三セクターへの各補填金額と支払理由は。

(5) 県の発表にとどまることなく感染経路を明確にし、ピンポイントでの対応をすべきと考えますがいかがですか。

(6) 感染防止・経済支援・医療体制など、よりの確な対応を行うため、対策本部を設置すべきと考えますがいかがですか。